

まなびのWai いわき

広報

平成15年度 いわきヒューマンカレッジ特集



ヒューマンカレッジ(市民大学)入学式・学長基調講演

開講式・学長基調講演

いわきヒューマンカレッジは、市民の高度で専門的な学習ニーズに応えるため、市内の二大学と高専の協力を得て実施している市民の大学です。本年度は、史学部・教育学部・環境共生学部・いわき学部の四つの講座を開設しました。

入学式は、八月三〇日いわきワシントンホテル椿山荘で行われ、当カレッジ副理事長である砂子田教育長から「本カレッジを自己啓発と相互交流の場として活用し、目標に向かって自己研鑽に努めるように」との式辞がありました。続いて、童門冬二学長が「いまに通ずる武蔵の生き方」



童門冬二学長による講演「いまに通ずる武蔵の生き方」

として基調講演を行い、一般の市民を含め五八〇人の方が聴講されました。その中で童門学長は、「戦国の世を生き抜いた武蔵の時代と現在の世相は通ずるところがある。武蔵のように境遇に負けず、目標を持ち、常に自己を高めるには生涯学習が必要ではなからうか。」と講演され、聴衆に感銘を与えました。

四学部の講座は、九月十一日から十一月十二日までの間、四つの会場で七回ずつ行いました。受講生からは、意見や要望も寄せられておりますので、次年度の参考にし、市民の皆様の学習意欲に応えられるように、よりよいヒューマンカレッジにしていきたいと考えております。

受講生代表あいさつ

鈴木 愛里さん

いわきヒューマンカレッジ(市民大学)入学式では、入学生二八〇名を代表して、環境共生学部の鈴木愛里さんが挨拶をしました。

今年度は一七歳から八二歳までの幅広い年齢層の市民の皆様が入学され、なかでも六〇歳代が一二一名、次いで五〇歳代と七〇歳代が四八名を数え、五〇歳から七〇歳代の方々が全体の七八パーセントを占めます。そのなかで、鈴木さんは入学生成人の最年少にあたります。

あいさつは、「応募者が多く、今回、入学できなかつた皆様の分までしっかりと学び、本市における生涯学習の推進に少しでも役立てられるよう精進し、さらなる努力を誓います。」と物静かな語りのなかにも、強い決意が述べられ、威風堂々と、そして格調高く締めくくられました。



## 史学部

いわき明星大学において、いわき市の様々な歴史について、いろいろな視点から見つめ、そして考え、歴史を学ぶ楽しさやおもしろさを発見しました。



## 教育学部

東日本国際大学において、学社連携融合事業を通して学校教育が変わろうとしている今、教育全般を捉え直そうとする試みについて学びました。



## 環境共生学部

福島工業高等専門学校において、身近な水環境と暮らしを結びつけ、生活排水による身のまわりの自然環境に及ぼす影響と対策について学びました。



## いわき学部

いわきの近世（窪田藩・泉藩・湯長谷藩）や野口雨情といわきの農村文学。そして、高齢化・少子化社会といわきの現状や将来について学びました。



## ヒューマンカレッジ修了式

修了式は、十二月七日、入学式と同じいわきワシントンホテル椿山荘で行われ、修了生二二九名の内一七〇余名が出席しました。

修了式では、専門学校長から次のようなメッセージが寄せられました。「幕末の優れた教育指導者吉田松陰は、松下村塾を開塾するときに、①松下村塾から長州藩を変えよう②長州藩の改革で日本を変えようと叫びました。この塾で学んだ人々が日本を変えました。フレッシュないわきづくりによって、日本をリニューアルしてください。皆さんはその旗手です。新しい風を巻き起こしてください。」

次に、副理事長の砂子田教育長から修了証書が授与されました。修了生の表情は、一つのことを成し遂げた達成感にあふれ、晴れ晴れとしていました。

「当カレッジで学んだことを今後活かしていきたい」という佐藤公夫さんのあいさつで式を終りました。



(右) 修了証書を受けるいわき学部野木アイ子さん  
(左) 卒業生代表あいさつをする教育学部佐藤公夫さん

いわき  
ヒューマンカレッジ  
受講生レポート

史学部

中島 恒久(郷ヶ丘)

私は、史学部講座を全日程7回にわたり受講いたしました。本教室は、分野ごとに学術経験豊富な立派な先生方の講義のもと、いろいろな視点から考察して、歴史を学ぶ楽しさ、面白さを発見させていただきました。

私は、学生募集要項の史学部紹介に『およそ歴史学は、社会や人間が変化する様を圧縮して記述している』との言葉に興味を抱き受講致しました。どの講座の内容も私にとっては、学ぶことが多く感銘をうけました。

中でも『考古学の里訛り』の講義からは私が今まで漠然としか考えていなかった考古学と云う学問に大変好奇心を抱くことができました。それは冒頭にも述べましたように、まさに歴史を学ぶ楽しさであり面白さでありました。何千万年前の時代の生活状況が地層を化学分析することにより、迎賓館跡であるこ

とが判ったり、人間の排泄物の地層からは、男女別のトイレの数に至るまで仮説をたて、手に取るように立証できる考古学と云う学問の素晴らしさに感心いたしました。

私は、すでに職場を定年退職し自由人となったことを機会にこの講座で学んだことを活かし、大学の聴講生をめざして更に歴史学を学びいわき地方の歴史についてもしっかりと子どもや孫に伝えたいと思います。

教育学部

長嶋 和子(椋間)

最初の講義の「理科好きを育てる」というお話には、とても興味を覚えました。どちらかというと私は、虫や動物はあまり好きではない方なので、子供と一緒にの時でもあまり近づかない様にしていました。

子供を三人育てましたが、長女などは、私と同じでした。この夏娘の家に行き、近くの有栖川公園に孫二人を連れて散歩に行った時のことです。私は学生の頃この近くに住んでいて、一度も行ったことのなかった公園です。都会の真ん中に森に

囲まれて、川があり水遊びが出来、ゆったり散歩が出来、二、三時間子供達は大喜びで遊び回っていました。その時娘は、虫等恐がる方だったのに、積極的に、この虫はどうのこうのと、ていねいに説明して、ザリガニ等もここにこして子供を見守っているのには、感心しました。

自分が理科系が苦手なのを、子供には、小さいときから興味を持たせようとする親心には、自分の娘ながらアツパレと思いました。

一番興味を感じる年頃に何でも経験させてあげようと、この夏休みには、子供達に海、山、川、ミュージカル、映画と大分協力した様です。今は、時間とお金があれば、ほとんどのことが出来ます。これからの子供はほんとうにしあわせです。

環境共生学部

佐藤 妙子(小名浜)

日々の暮らしの中で、今まで何気なくしてきた事が環境を少しずつ破壊していることに、罪の意識として頭の片隅に常に残るようになったのは、好きな園



環境共生学部による水質調査(永崎海岸)

芸を熱心に始めてからでした。

それまでも、家庭内から出る天ぷらの廃油など下水に流さぬようにぼろ布や新聞に吸い取ってから捨てたり、浴室のカビとり剤を出来るだけ使用しないようにこまめに水分を拭き取ったりして、どうしても使用するときには塩素系でなく酸素系を使ったりはしていました。

しかし庭にバラを植えてから殺菌剤・殺虫剤を使用するようになり、それもかなり頻繁に使用していると病気が出てしまいますので、初心者の方は、園芸店に行っては色々薬品を求めて散布していましたが、注意書きを

読むと「マスクをして眼鏡をかけ、長袖シャツに手袋をけなさい」と色々書いてあるのを読むたび何だか怖くなり、使った後の器具を洗った水は生活排水として下水に流してしましたが、「あ、これはとてもいけないことをしているのではないか？」と今回の講座を受講しているうちに思い始め、薬品による消毒が出来なくなり、わが目とわが手で出来る範囲で手入れをしていましたが、やはり薬品を掛けたようには行かず虫食いや花や、葉が黒点病やうどんこ病に侵されて今までのように美しいバラを愉しむ事が出来ませんでした。三十二年前内郷の奥、高野に友人の土地を借り、ささやかな家を建て七年間住んでいたことがありましたが、水道がなく井戸を三箇所ほど掘っても水脈に当たらず、仕方なく、沢水をいったん井戸に入れ、モーターで汲み上げて台所やお風呂に使っていました。友人たちが口をそろえて水のおいしさを羨んでいましたが、大雨が降れば沢から引いているパイプが枯れ葉や土砂で埋まってしまい、その都度大変な思いをしながら

いわき学部

平田 栄(平)

歴史の日陰にもっと光を!

掃除をしなければ水は使えず、やつと使えるようにしたその水は、茶色の濁った底にうつすらと泥が沈む水で、二三日は覚悟して薄茶色のお風呂につかり、うつすらと色の付いたご飯を食べていました。

今、その上流には家が建ち始め、そんな沢水は飲むことが出来ないでしょうが、いや、それ以後簡易水道が引かれたと耳にしたことがあったので、生活はズーッと便利になっていくことでしよう。人間は利便さを求め、自分を癒そうとしながら無意識にどんどん自然を壊していることを深く考えさせられました。私は「水辺の観察」現地視察、賢沼への「うなぎの遡上水路」をみて愕然としました。もつとも私は恥ずかしいこととうなぎが「海から遡上して淡水で産卵する」と言う事を知らなかったのですから。

今回この講座に参加して色々考えさせられました。一人ひとりが常に意識して環境をこれ以上壊さないようにしなければならぬと思います。一人の力はたとえ小さなもの

「三藩時代の庶民の暮らしと宗教」の講義で先生から戴いた追加資料の中に「どうも平藩にくらべて、湯長谷藩や泉藩は豊かだったようです・・・平藩は元文百姓一揆を境目にして、ぎくしゃくした藩になってしまったのかもしれない。この一揆の義民たちに対する慰霊はきちんと受け継ぐことが大切でしょう」とありました。

ところが鎌田山にある「元文義民碑」の前で以前から犠牲者の遺族の子孫をお招きして行われていた慰霊祭が、最近では中断されたまま人々の記憶の中から忘れ去られようとしています。何とも残念なことです。

百姓一揆を起こした指導責任者たちは必ず打ち首になることがわかっていました。それにもかかわらず時の圧政に耐えかねた百姓たちは立ち上がったのです。しかし、百姓たちは平藩の重役たちからだ

まされて一揆を收拾、その結果たちまち指導者たちが捕らえられたあげく、鎌田の河原でその代表者八名が打ち首にされてしまいました。夏井川に架かる鎌田橋のもとに小さな首切り地蔵堂がひっそりと建っています。この地蔵様こそ一揆の責を一身に背負って打ち首になっていった尊い八名の義民の霊を慰めるため、領民たちが建立したものでした。当時はお上に反逆した者ということで、供養することもままならなかったようです。今では近所の人たちがお花や線香、供物をお供えしながらお守りしてくれています。本当に有難いことです。



いわき学部現地研修 (野口雨情生家)

現在、いわき市と延岡市とは兄弟都市として交流を深め、また鎌倉にある内藤家のお墓の掃除も有志によって行われているようです。内藤家が残した文化面(俳かい)の研究は盛んに行われている反面、この一揆についてはあまり取り上げられておりません。決して面白い話ではありませんが、先人たちの尊い犠牲の上に現在があることを思えば、もっとこのことを市民の方々に伝えて行くべきと思っております。

教育学部

劉 春燕(中国・平在住)

私は昨年日本に来て、まだ日本語が下手なので、レポートさえ一度も書いたことがない。間違い所があったら、許して下さい。

日本の文化や、歴史など、特にいわきの興味を持ってある。日本語が十分通じない、分からないので、いろんな不便があった。これから、幼稚教育に向けて勉強したいのですが、言葉のせいで、自信が持てない。それにしても、将来のために、毎日充実し過ぎることができるように、

努力する。教育は何か、どうすればいいのかと疑問を抱く、この学部を選択したのである。

私にとって授業がとても難しいけれど、面白い所もあった。勉強したら、すくなくても少し分かるようになった。特に英語学習についてのテーマは、役立つ勉強ができるようにいろいろな方法を教えてもらった。歌や、ゲーム等興味をそそる勉強は、大変魅力的である。「つまらない、苦しい勉強」等、その声を聞いて、悲しいだろう。そんな人にとって、楽しく勉強がそれほどいいものがないだろう。中学の時、私は英語が大嫌い、アルファベットを見ると、頭が痛くなつた。その時、先生の授業は、いつまでも本ばかり読んで、単語を覚えさせるだけだった。英語の授業になると、緊張して、勉強ができなくなるほど恐怖だった。そして、ストレスがたまってしまった。そして、英語が憎らしくなってしまう。悪循環になってしまった。言語の学習なら、まず、先生のように簡単な生活から教えて、そして、使うこと。だんだん言語に慣れてきたのだが、もっと話せるように勉強したい。

# 平成15年度上半期 生涯学習フラザ開講講座の一部を紹介します

## 親子パソコン入門講座

Windowsパソコンに標準で備わっている「ペイント」を使用して親子でお絵かきを楽しみました。パソコンを使うのが初めての親子がほとんどでしたが、あっという間に使い方をマスターして、マウス一つで楽しい絵を描くことができました。おとうさんへのプレゼントもこのとおり。



## 親子将棋入門講座

夏休みの期間を利用し、将棋を通して親子や家族のふれあいを図るために行いました。講座では、駒の呼び方や進め方など将棋の基本から学んでいきました。短期間にもかかわらず、最終日には親子で将棋を指せるまでになりました。子ども達は、勝ったり負けたり、真剣に取り組んでいました。



## やさしい健康体操入門講座

気軽に家庭でも取り組める体操を目指して行いました。音楽に合わせて自分のペースで無理なく行い、爽やかな気持ちになったようです。チューブを使っての体操などは、体力に応じてステップアップをはかりながら行いました。受講希望者が多く、人気講座の一つです。



## 初級英会話講座 I

国際化社会の現代において、人々とのコミュニケーションをはかる上で最も有効な英会話の基礎を、外国人の方を講師に招き、日常会話を通じて学びました。また、語学力の向上だけでなく、自国や他国の様々な文化や生活に対する興味や関心が広がりました。



# 生涯学習プラザからのお知らせ

## 平成15年度講座開設大学一覧

10月	名古屋経営短期大学
長岡技術科学大学	北海道大学
仙台大学	広島大学
山梨大学	1月
立命館大学	順天堂大学
群馬県立女子大学	徳島大学
筑波大学	京都大学
11月	創価大学
東京大学	岩手大学
八戸大学	静岡大学
新潟大学	常葉学園大学
東北大学	2月
山野美容芸術短期大学	愛媛大学
上智大学	常磐大学
12月	佛教大学
淑徳短期大学	女子美術大学
岡山大学	常磐大学
久留米信愛女学院短期大学	島根大学
名古屋産業大学	琉球大学

**エル・ネット「オープンカレッジ」開講中**

エル・ネットは、文部科学省が実施する、衛星を利用した教育情報通信ネットワークです。生涯学習プラザでは、エル・ネットを利用した大学公開講座「オープンカレッジ」を放映しています。これらの講座は全国の国公私立大学が実施するもので、各種分野における最先端の講座から自由に選択して無料で聴講することができます。

**開講期間** 平成十五年十月七日  
 ～平成十六年二月二八日

**開講時間** 午前十時～正午(火～金)  
 午後一時～午後五時(土) ※二講座

**開講場所** プラザ四階「情報公開コーナー」

**テキスト** プラザ五階受付で配付します(無料)

**ビデオ** 各講座の収録ビデオを貸し出します。

**その他** 詳細は生涯学習プラザ(〇二四六―三七―八八八八)までお問い合わせください。  
 「オープンカレッジ」ホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.opencol.gr.jp/>

## プラザはふれあいと発見の場

生涯学習プラザでは、今年度、ライフプランニング講座や初級・中級英会話講座など30以上の講座を開き、広く市民の皆様に学習の場を提供しています。講座を企画するに当たっては、アンケート調査や利用者懇談会などを実施し、市民の皆様のニーズに合った講座づくりに努めています。

英会話講座や陶芸講座、健康体力づくり講座では、講座終了後、受講生を中心とした新たなサークルも誕生しています。

1月下旬より、生涯学習プラザ4階ロビーを会場に、プラザ利用のサークル等の活動内容を広く皆様に紹介する展示会も予定しています。

生涯学習プラザは、これからもふれあいの場・発見の場を市民の皆様に提供してまいります。

## 市民講師に登録しませんか

いわき市生涯学習推進本部では、市民の皆様の生涯学習活動を支援していただける生涯学習市民講師を募集しています。各分野における知識や技能を持っている方や地域社会で活躍されている方で、生涯学習活動の支援をしていただける方であれば、どなたでも応募できます。

生涯学習市民講師に登録いただくと『生涯学習ガイドブック「指導者編」』に掲載され、教育機関や各種団体からの要請を受け、指導者として紹介します。

生涯学習市民講師への登録方法及び市民講師の指導範囲と分類の詳細については、いわき市生涯学習プラザ(0246-37-8888)、または各支所・公民館までお問い合わせください。

## 生涯学習プラザへのアクセス

- JR常磐線いわき駅より徒歩9分(600m)
- 常磐自動車道いわき中央ICより車で約10分(5km)

〒970-8026

いわき市平字一丁目1番地 ティーワンビル内

TEL:0246-37-8888 FAX:0246-22-5555

電子メール:info@isgp.jp

ホームページ: <http://gakusyuplaza.city.iwaki.fukushima.jp/>

